

低所得妊婦の初回産科受診費用助成申立書

上記助成に関して、下記のとおり申し立てます。

例) 私は、株式会社〇〇の運営するレストラン〇〇に勤務していましたが、
令和5年2月1日に解雇され、現在に至るまで失業手当のみで生計を立てています。

例) 私は株式会社〇〇を令和4年1月31日に自己都合で退職しましたが、その後
再就職先が見つからず、現在も無職の状態です。

例) 夫は飲食店(居酒屋〇〇)の個人事業主ですが、コロナウイルス感染症の影響
を受けて令和4年5月1日から現在まで店を休業しているため、その間の収入は
ありません。

例) 私は平成30年に退職してからは専業主婦となり、課税される収入はありま
せん。

例) 私は株式会社〇〇に在籍していますが、令和4年1月から令和5年6月まで
育児休業中のため、課税される収入はありません。

本申立の内容に相違ありません。

令和5年4月1日 申請者(妊婦)氏名 〇〇 〇〇

低所得妊婦の初回産科受診費用助成申立書

上記助成に関して、下記のとおり申し立てます。

例) 私の勤務先では給与明細が電子端末での閲覧となっており、紙出力できる機器がないため、別添のとおり転記した資料を提出します。

例) 給与支給明細書を紛失したため、勤務先に再発行を依頼しましたが、不可とのことでした。勤務先から税金や社会保険料等の天引きはされておらず、総支給額=口座振込額であるため、令和〇年〇月分給与振込が記載されている通帳のコピーを提出します。

例) 私は、株式会社〇〇の運営するレストラン〇〇でアルバイト勤務していましたが、人員削減となり、令和5年1月31日に退きました。離職を証明できる書類がありませんが、令和5年2月以降は無職のため収入がなかったことを申し立てます。

本申立の内容に相違ありません。

令和5年4月1日

申請者(妊婦)氏名 ○○ ○○